



あなたの

「好き」「楽しい」「やってみたい」が

まちを楽しくするはず

兵庫県宝塚市 片岡 博史



兵庫県宝塚市の概要

人 口： 219,726人
世帯数： 97,437世帯
面 積： 10,189ha
市街化区域： 2,605ha(25.6%)



↓市HPによる市の紹介文

国際観光都市・宝塚



宝塚大橋から見た宝塚大劇場

宝塚には、年間877万人もの観光客が訪れます。「歌劇と温泉のまち」として知られているほか、安産祈願の中山寺や、かまどの神様として有名な清荒神清澄寺など、市内には古い歴史を持つ神社仏閣が数多くあります。

このほか、阪神競馬場やゴルフ場など観光・レジャースポットがいっぱい。

豊かな自然に囲まれたハイキングコースや、まちなみの散策も魅力の一つです。また、山本の植木産業は数百年の歴史があり、伝

統的植木生産地域としてその名を全国に知られています。

私の考える宝塚市の課題

- 1 繰り返される失敗
- 2 中心市街地がない
- 3 市民の無関心

本市宝塚駅・宝塚南口駅周辺エリアにおける これまでの取り組み

昭和51年(1976年)	宝塚南口駅前地区再開発事業(サンビオラ)
昭和62年(1987年)	逆瀬川駅前地区再開発事業(アピア逆瀬川)
平成 7年(1995年)	宝塚駅前地区再開発事業(ソリオ宝塚)
平成10年(1998年)	ホテル若水の建て替え、宝来橋完成
平成10年(1998年)	観光プロムナード構想
平成15年(2003年)	宝塚ファミリーランド閉園
平成16年(2004年)	都市再生モデル調査
平成20年(2008年)	中心市街地活性化計画
平成25年(2013年)	宝塚ガーデンフィールズ閉園
平成30年(2018年)	都市再生整備計画事業(中心市街地第二期)
令和 2年(2020年)	文化芸術センター開館
令和 2年(2020年)	宝塚ホテル移転

現代的教育ニーズ取組支援プロジェクト

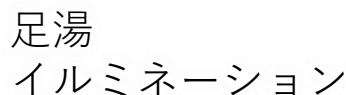
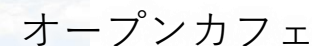
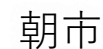
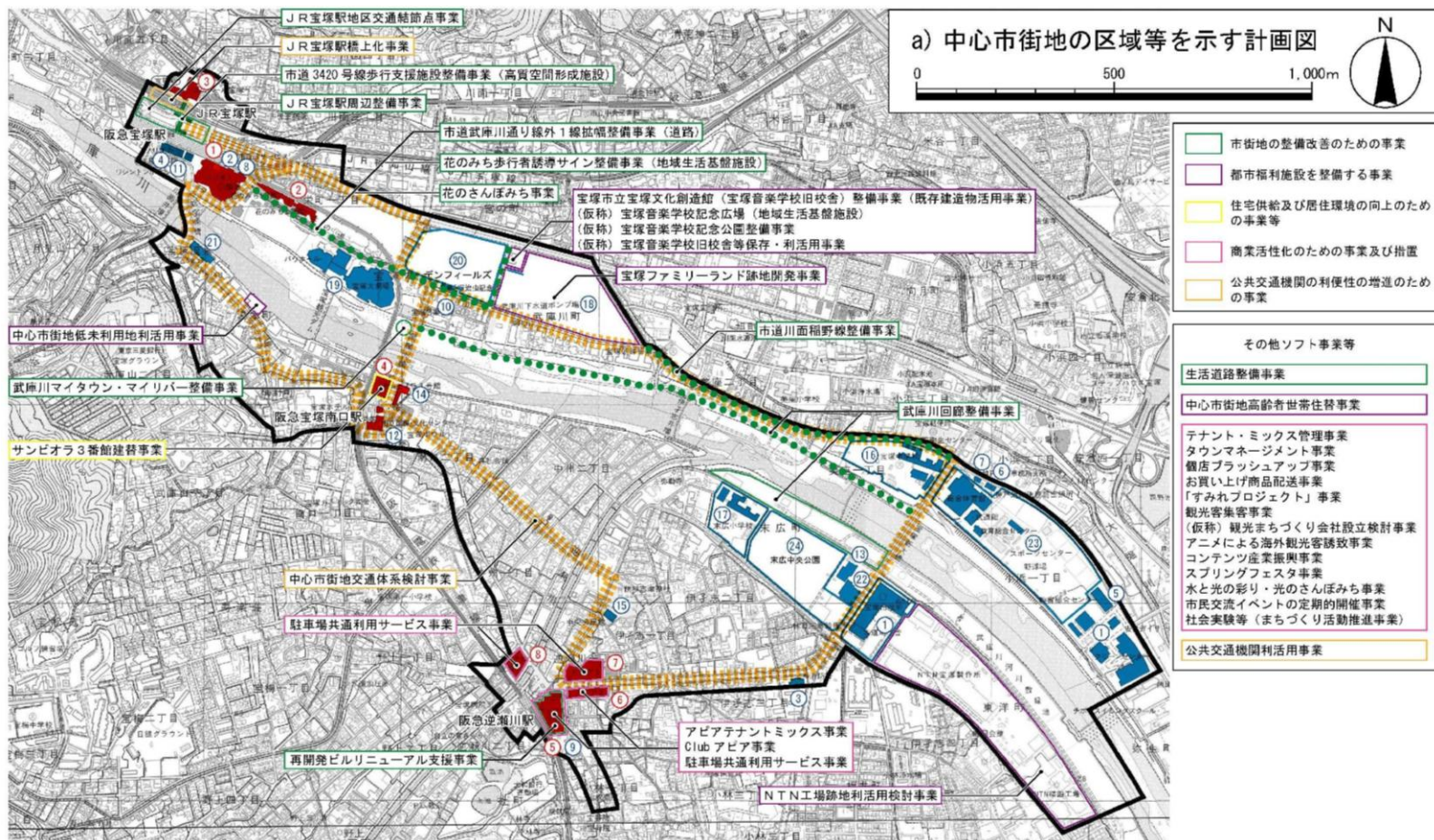


図3-1 モデル調査に係る作業連携、役割分担のイメージ

本市宝塚駅・宝塚南口駅周辺エリアにおける これまでの取り組み

昭和51年(1976年)	宝塚南口駅前地区再開発事業(サンビオラ)
昭和62年(1987年)	逆瀬川駅前地区再開発事業(アピア逆瀬川)
平成 7年(1995年)	宝塚駅前地区再開発事業(ソリオ宝塚)
平成10年(1998年)	ホテル若水の建て替え、宝来橋完成
平成10年(1998年)	観光プロムナード構想
平成15年(2003年)	宝塚ファミリーランド閉園
平成16年(2004年)	都市再生モデル調査
平成20年(2008年)	中心市街地活性化計画
平成25年(2013年)	宝塚ガーデンフィールズ閉園
平成30年(2018年)	都市再生整備計画事業(中心市街地第二期)
令和 2年(2020年)	文化芸術センター開館
令和 2年(2020年)	宝塚ホテル移転

平成19年(2007年)～平成21年(2009年) 中心市街地活性化基本計画 宝塚まちづくり会社の破綻(アピア逆瀬川)



平成19年(2007年)～平成21年(2009年) 中心市街地活性化基本計画 宝塚まちづくり会社の破綻(アピア逆瀬川)



宝塚まちづくり会社の破綻原因に関する報告書概要
(アピア逆瀬川の再生に関する調査専門委員会中間報告書概要)

1 破綻の客観的要因

- (1) 事業計画に内在する問題点 — 補助金の獲得が目的化したこと
実際、戦略補助金を得るために、国の予算年度の制約から1年弱という極めて短期間内でリニューアルオープンを達成できるかという点が重視された。
結果として、補助金の獲得と1年内リニューアルオープンという課題を充足するために、事業としての成否の検討・検証が不十分なまま事業がスタートしてしまった。
その後も補助金の取得が可能となるように事業計画を変更し、変更した計画の実現可能性や履行可能性について慎重な検討・検証がなされないまま、事業が進行してしまった。
- (2) 事業費の増大 — 事業期間を限ったことによって事業費が増大したこと
事業期間内にリニューアルを達成すべく、当初は取得予定ではなかった大型店ゾーン等を取得するとの方針変更、リレーシング、改装工事、店舗移設等種々の場面で無理をした結果、事業費の大幅な増大を招いた。
一方、事業期間の遵守のため、当初予定していた戦略中小補助金よりも補助率の低い戦略補助金の申請に切り替えたことにより、自己負担資金が増大した。
- (3) 事業の先行 — 事業計画を見直す機会を逃してしまったこと
補助金の金額等が確定しない段階で大型店ゾーン等の床の取得を決めるなど、資金計画が確定せずに資金調達の見処も立たないままに、事業資金が実質上支出されるという状況が生じた。そのため、資金に見合った適切な支出内容を設定することができなくなった。
大型店ゾーンの取得価格が、当初想定した価格を大幅に上回ると判明した時点等、事業計画を根本的に見直すことが可能な時点が複数あったはずであるが、いずれも逃してしまった。

- ## 2 関与主体別の要因(特定の当事者の特定の行動が宝塚まちづくり会社の破綻に直接結びついていたこと)
- (1) 宝塚まちづくり会社 — 宝塚まちづくり会社は、宝塚市と民間企業が共同で設立された会社で、宝塚市が過半数の議決権を保有している。宝塚市は、宝塚まちづくり会社を、宝塚市の中心市街地活性化の推進機関として位置づけ、宝塚まちづくり会社の経営体制が機能していなかったこと、宝塚まちづくり会社の経営判断に基づき、事業を進めていくべきであったが、リニューアル事業全体を統括管理する視点や、事業計画の資金計画を慎重に検討し検証するための体制が存在しなかった。

主・区分所有者 — 一致団結した協力体制が構築されていなかったこと
アピア逆瀬川の再生が必要であることについて大方の共通認識があったものの、

行政都合によるエリアの拡大と
補助金を前提とした事業

本市宝塚駅・宝塚南口駅周辺エリアにおける これまでの取り組み

昭和51年(1976年)	宝塚南口駅前地区再開発事業(サンビオラ)
昭和62年(1987年)	逆瀬川駅前地区再開発事業(アピア逆瀬川)
平成 7年(1995年)	宝塚駅前地区再開発事業(ソリオ宝塚)
平成10年(1998年)	ホテル若水の建て替え、宝来橋完成
平成10年(1998年)	観光プロムナード構想
平成15年(2003年)	宝塚ファミリーランド閉園
平成16年(2004年)	都市再生モデル調査
平成20年(2008年)	中心市街地活性化計画
平成25年(2013年)	宝塚ガーデンフィールズ閉園
平成30年(2018年)	都市再生整備計画事業(中心市街地第二期)
令和 2年(2020年)	文化芸術センター開館
令和 2年(2020年)	宝塚ホテル移転

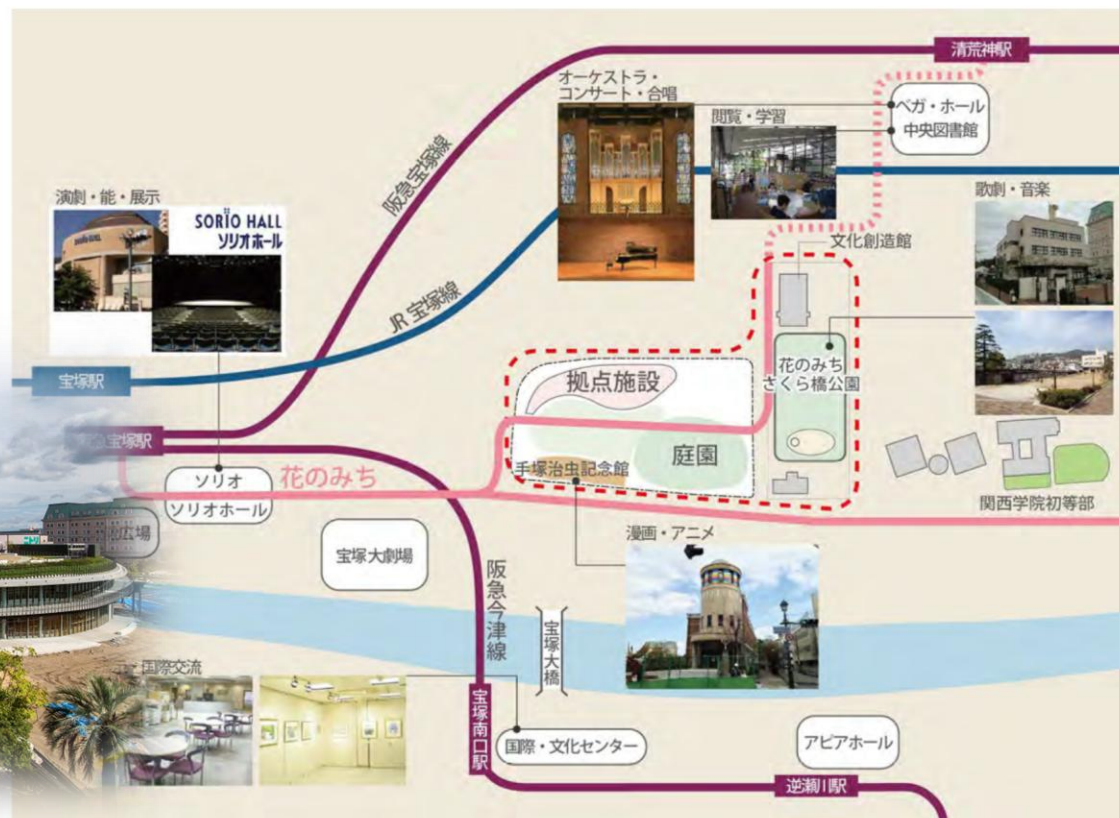
平成27年(2015年)～令和2年(2020年) 宝塚ガーデンフィールズ跡地活用 文化芸術センター

宝塚ガーデンフィールズ跡地利活用方針（案）

4. 周辺施設との連携について

当跡地は市内に点在する文化施設の中心に位置することから、
文化芸術をつなぐネットワークの拠点として位置づけ、手塚治虫記念館や文化創造館、
花のみち・さくら橋公園をはじめ周辺文化施設との連携を図り、回遊性と相乗的な
賑わいをさらに高めています。

令和 2年(2020年)
文化芸術センター開館



宝塚駅・宝塚南口駅周辺エリアに係る所掌事務

文化芸術センター及び庭園

文化政策課
（芸術及び文化の振興に関すること）
（文化活動の促進に関すること）

公園河川課
（公園の管理に関すること）

観光

観光にぎわい課
（観光宣伝事業及び集客促進事業に関すること）

商業

商工勤労課
（中心市街地の活性化に関すること）

様々な活動や交流

市民協働推進課
（コミュニティ活動団体等の支援に関すること）

地域福祉課
（地域福祉活動の推進に関すること）

アフタースクール課
（青少年の文化活動に関すること）

**縦割り行政による
主体性の欠如**

宝塚ガーデンフィールズ跡地活用
基本計画

企画政策課

前指定管理者からの提案

PPP（官民連携まちなか再生推進事業） 宝塚市におけるエリアプラットフォーム

宝塚市立地適正化計画について

令和4年5月に策定・公表された宝塚市立地適正化計画の誘導施策において、下記の通り、記載がありこれから具体化が求められるものと推察しています。

1. 居住誘導の施策

第2章で示す居住誘導の方針「宝塚の個性を生かした居住誘導」の施策を示します。

（1）ゆとりある住環境の維持・向上に向けたエリアマネジメントの支援

①地域活動の支援

まちづくり協議会などの地域組織の活動を支援し、住環境の維持・向上に向け、住民、事業者などの多様な主体の連携によるエリアマネジメントの導入を図りながら各施策の取組への支援を図ります。

②地域まちづくりの担い手育成

まちづくり協議会などの地域組織の支援を通じて地域のまちづくりの担い手の育成を図ります。

【「ゆとりある住環境の維持・向上に向けたエリアマネジメントの支援」の取組】

「コミュニティ活動支援事業」「自治会活動支援事業」「市民活動促進支援事業」
「きずなづくり推進事業」

2. 都市機能誘導の施策

第2章で示す都市機能誘導の方針「地域特性に応じた都市機能の誘導による多様な空間の創出」の施策を示します。

（1）多くの市民、来訪者が訪れ、交流・活動が生まれる都市拠点の形成【都市拠点】

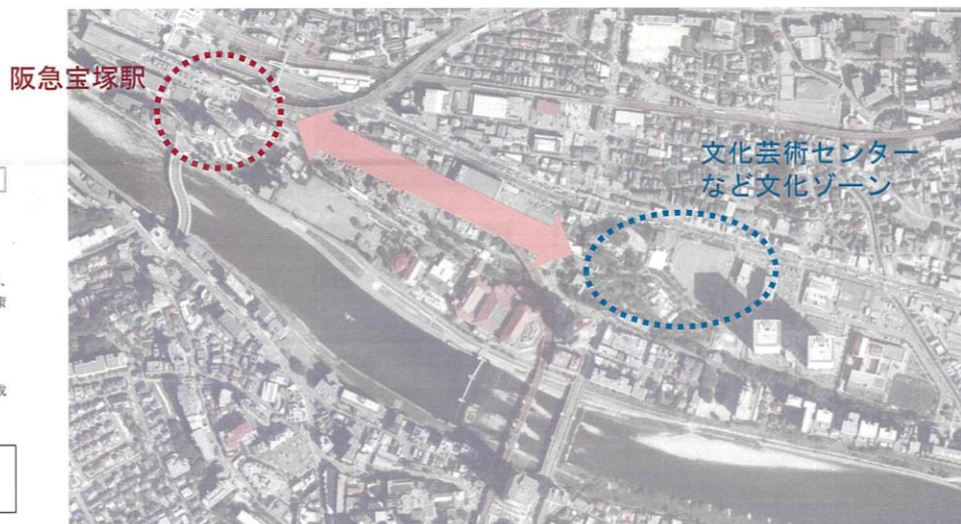
①賑わいと魅力の中枢となる機能の維持・充実

商業・サービス、業務、観光、芸術、文化など、宝塚の中心にふさわしい多様な機能の維持・充実に努めます。

②回遊したくなるウォーカブルな空間の形成

歩行者空間沿道への積極的な商業・サービス施設の誘致や、街路沿いの緑化などを進めることで、歩いて楽しいまちの形成を進めます。

ウォーカブルなまちづくり



現在、阪急宝塚駅～宝塚大歌劇～文化芸術センターなど文化ゾーンは単体として位置付けられており、エリア全体としてのビジョンはなく、施設ごとに集客や情報発信などの取り組みを行なっている状況です。

このエリアは分野の関連性も高く、**エリア内には公園や河川敷、歩道など優れた公共空間が存在しています。**そうした公共空間をより魅力的にする取り組みを実践しつつ、このまちの住民の地域活動を側面支援するような取り組みをすることにより、魅力的なエリアへと変わっていきと考えています。

そのためには、まずこのエリアの関係者によって、**エリアの課題の共有や未来の共有などを行う場づくりを行い、未来ビジョンを策定していくことが必要であると考えています。**



兵庫県宝塚市
人口：222,090人（2020年現在）
面積：101.9km²
宝塚市は、兵庫県南東部に位置する市国から施行時特例市に指定されている。

現在の宝塚駅・宝塚南口駅周辺エリア における市街地整備課の取組み

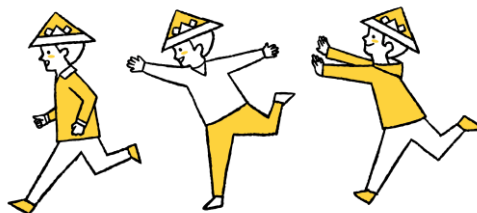


あなたの

「好き」「楽しい」「やってみたい」が

まちを楽しくする

はず



現在の宝塚駅・宝塚南口駅周辺エリア における市街地整備課の取組み

あなたの

「好き」 「楽しい」 「やってみたい」 ことなら

なんでもあり

現在の宝塚駅・宝塚南口駅周辺エリア における市街地整備課の取組み

ルール

- 1 やるのは自分
- 2 お金はでません
- 3 舞台は武庫川河川敷
- 4 小さくてもカタチにする

どのようなことを行っているか

WORK SHOP

「好き」「楽しい」「やってみたい」がまちを楽しくする
令和6年度のワークショップも
ワクワクするアイデアがいっぱい♪

第1回 ワークショップ

「楽しい」を考える



今年の参加者は、なんと去年の倍！事務局にはうれしき恵賜が...
現実的なアイデアから、世界中の川を中継して交流する！といったワールドワイドなアイデアまで。

第2回 ワークショップ

「まち」を見る



20名を超える参加者で、武庫川河川敷を歩いて、空間のイメージを深めました。
あれもやりたい！これもやりたい！となかなか、アイデアをまとめられず...

第3回 ワークショップ

「アイデア」を決める



「たき火」「音楽」「アート」「恐竜？」とそれぞれのやりたいことに共通するキーワードからグループ作り、企画書作りを行いました。

第4回 ワークショップ

「やりたい」を企画する



今年の参加者は、経験が豊かな方が多く、企画書も完成度が高い！
アイデアに対するそれぞれの想いを再確認しながら、発表会に向けてアイデアを深めました。

発表会

わたしのアイデア聞いてみる会？
開催しました！

日時 2025年3月15日(土) 14:00~17:00
場所 宝塚商工会議所 多目的ホール



むこがわパレット

見慣れた武庫川の景色をもっと身近な場所に...武庫川の河川敷をパレットに見立て、捨てられてしまうような花や落ち葉を使って、いろんな色で彩って、その中を歩いたり、見て、触れて、作って、楽しい会話が生まれる。河川敷が、そんな日常のきっかけを創れるような場所にしたい。



みんなのサードプレイス 灯守り倶楽部

自分の楽しいことをみんなでシェアしたい。大人が本気で楽しんでいる姿を子どもに見せたい。毎日、駅と職場の往復で、世間から取り残されているような不安...たき火を囲んで、灯に集まれながら、みんなの「やりたい!」を実現できる場所(=サードプレイス)を創りたい。



おかえり~ 宝のまち音楽フェス

コロナ禍で少なくなった合唱の活動、発表できる場の少ない学生、〇才以上は入場できないあきらめた音楽フェス、大空の下で大声で歌いたい。音楽の力を借りて、宝塚に住んでいる人も、住んでいない人も、このまちを好きになってほしい。全世代が楽しめる年齢制限のない音楽フェスをしたい。



宝塚応援団

スミレザウルスくん、モノづくり、防災士イベント立ち上げの経験などそれぞれの得意を活かして、いろんなイベントなどに役立ちたい。それぞれが楽しみながら、イベントを主催する立場の人、宝塚を盛り上げたい人をゆる〜く応援していきたい。想いを持っている人をつなぐ応援団。



参加してみて

初めて発表会に参加したのですが、皆さんがこんなにもユニークかつ楽しいアイデアを持っていて、びっくりしました。実現には困難もあるかもしれませんが、「宝塚を盛り上げたい」という市民の熱意が、まちをよくする一歩になるとリアルに感じました。私も身近なことからなにかお手伝いできたらと思います。

中山在住 Hさん

小さくてもカタチにする

ワークショップで考えた4つのアイデアをホントにやってみた

アイデア
1

右岸と左岸をつなぐ糸電話

開催日 令和6年4月28日(日)



●ホントにやった人たち
モノ作りが得意なオニヅカさん、人脈が広いキタさん、温泉祭り実行委員会シオカワさん

●どうやった?

補助金などは活用せず、自分たちで材料を持ち寄って、宝塚温泉まつりのブースとして実現。自分たちの人脈からドローンを操縦できる人を雇って、対岸に糸を渡しました。

●またやるの?

ドローンは、お金がかかるので、お金をかけずに糸を渡すアイデアをお持ちの方を大募集! 宝塚温泉まつりでの定番化を模索中



アイデア
2

Let'sむこキャン

開催日 令和6年11月9日(土)



私たちがやりました!



宝塚の大切な居場所や癒しである武庫川で、防災の社会実験を市と一緒にさせて頂いた事で、沢山の子も来られて、これからは継続して色々チャレンジしていく最初の年となりました。これからがとても楽しみです。

●ホントにやった人たち

気づいたらリーダーになっていたヤベさんと「焚き火」に魅せられた人たち

●どうやった?

防災×焚き火をテーマに、地域で防災や焚き火に関心のある方に声かけを行い、それぞれができること、ものを集めて、防災イベント、焚き火、テント泊を行いました。

●またやるの?

初心に戻り、継続した活動として、定期的な「焚き火」を検討中

アイデア
3

TAKARAZUKA
ベーカリー&カフェ フェス

開催日 令和6年12月8日(日)



私たちがやりました!



冬の初めの暖かい空の下、武庫川の畔の宝塚らしいエリアでファミリーカップルのをお客とした方まで幅広い世代が、お目当てのベーカリー&カフェのお店に並び、おいしく頬張る光景、暖かやで、おしゃべり宝塚らしい雰囲気、約1年かけて新しい仲間と実現したフェスは、みんなが笑顔で楽しめました。「宝塚いいや」「幸せ」「発見!」そんな笑顔が溢れるなか、ほっこりフェスを体験し、宝塚市のファン、civic prideを盛り上げていきたいです。宝塚の市民も、みんなと一緒に宝塚をまだまだ広げていきます! 第2回以降も楽しみ!



●ホントにやった人たち

2つの企画を掛け持ちするスーパーリーダーのサカグチさんとおしいものに引き寄せられたおいしい人なたち

●どうやった?

パン/屋さんのご意見を聞きながら、一人一人が出店交渉を行い、多世代で楽しめるイベントや紹介看板作り、プレゼント用の缶バッジ作りを手作りで行いました。

●またやるの?

第2回もぜひやりたいので、実行委員会、当日ボランティア、出店者などなど絶賛募集中です!



アイデア
4

お洋服の交換会

開催場所 武庫川河川敷他
各場所で開催



●ホントにやった人たち

2つの企画を掛け持ちするサカグチさんと会場協力コロボ頂いた皆さん

●どうやった?

同じような交換会を主催されている人々と情報交換し、会場提供やイベントとのコラボを各団体にお願いが行いました。

●またやるの?

交換会なのでお金がありません! 会場をお貸し頂ける方、イベントコロボ頂ける方よろしくお願ひします!

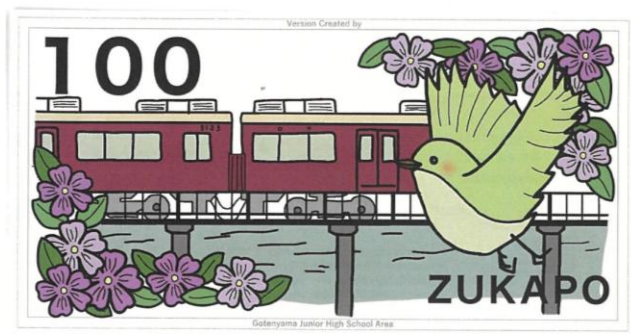
私の考える宝塚市の社会イノベーション

- 1 小さな成功体験
- 2 私らしい地域との関わり方
- 3 お互いの関心



「好き」「楽しい」「やってみたい」の連鎖

- ・ 子ども通貨を始めた人
- ・ クラフトジンを作りたいという人
- ・ 地図アプリを作った人
- ・ 看護旅行で関西万博をサポートした人
などなど



社会イノベーションを生む私の心得

- 1 やりたい人に任せる
- 2 行政の都合を忘れる
- 3 一緒に楽しむ